

★チャレンジ! 夢に向かって★

* ~ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成~

第50回秋田県PTA研究大会男鹿大会に参加して…

10月5日（土）に男鹿市民文化会館小ホールで行われた第50回秋田県PTA研究大会男鹿大会に太田北小学校PTAを代表して参加しました。県PTA研究大会というのは、県内の小・中学校のPTA会員が一同に集い、家庭や地域の教育力を高めるとともに、児童生徒の健全な育成と安全な生活を送るために、研修を深めながらPTA活動の一層の発展と充実を図ることを目的とし、毎年開催されています。今回は『食育で未来を拓く』～家庭・地域・学校の協働で子どもたちの健やかな成長と豊かな心を育む～という大会主題の下、記念大会として行われました。

歓迎アトラクションでは、〇〇〇中学校の「なまはげ太鼓クラブ」が「真山おろし」と「生力（いき）」の2曲を披露しました。迫力ある演技に、参加者全員が感動しました。

記念講演の講師を務めたのは、テレビやラジオで活躍中の食育インストラクター、桜庭みさおさんでした。

「食が育む豊かな日常」という演題で家庭教育における食の大切さについてのお話がありました。桜庭さんからは「味覚が鈍くなっている若者が多い」

「グルメやダイエットの情報は詳しいが、食に関する知識が不足している」という問題提起があり、「食事はただ単におなかがいっぱいになればいいというわけではない」「子どもの人格形成に影響するのが家庭であり、食育の基本は家庭である」「味覚は幼少期が大切であり、自然の食材をどれだけ食べてきたかで決まる」「食のゆがみは、将来、生活習慣病のリスクを高める」というような内容について、詳しくお話していただきました。

講演の中では、はしの使い方についての話もありました。さて、お子さんは正しいはしの使い方ができているでしょうか。私は子どもたちと一緒に給食を食べていますが、正しいはしの使い方ができず、食べ物をこぼしてしまったり、周りの人に嫌な思いをさせてしまったりする子どもがいます。はしの使い方を指摘すると、「はしの使い方なんて、食べられればどうでもいいです」と話す子どももいます。正しいはしの使い方は、料理が食べやすいだけでなく、周りの人も気持ちよく食事をする事ができます。大人になった時に恥ずかしい思いをしないためにも、子どもたちには、今から正しいはしの使い方を身に付けてほしいと願っています。

連絡

10月28日（月）～11月1日（金）までは詩の暗唱週間です。多くの子どもたちのチャレンジを期待しています。